

楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる

月	単元名	時数	学習内容	観点別評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	美術科オリエンテーション	2	美術科の教科の特色や今後の学習の流れについて見通しをもたせる	美術科の特色や学習内容について理解し、今後の学習に生かそうとしている。	美術科の特色や学習内容について理解し、今後の学習に生かそうとしている。	楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心をもって授業に取り組んでいる。
5～7	見ることからの発見（平面）	10	・描く対象をよく観察し、そのものらしさを表現する。 ・質感の描き分け、形と明暗の捉え方を学ぶ。	描くものの形や色彩、それらを全体のイメージで捉えることを理解している。 描画材料の特性を生かし、描き方を工夫して表している。	身近なものの特徴、よさや美しさなどから主題を生み出し、描きたいものを考え工夫して構想をしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、身近なものがもつ形や色彩などをもとに見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に楽しく取り組もうとしている。
			1学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	・ワークシート ・作品制作 ・定期テスト	・ワークシート ・作品制作 ・定期テスト	・授業での取り組み（作品制作、ワークシートを含む） ・定期テスト
8～10	色彩の学習	5	・色の3要素（明度・彩度・色相）についての学習 ・絵具を使った混色の方法 ・ポスターカラーの使い方	色の3要素について理解し、絵具を混ぜて意図に応じた色合いを表現することができる。 ポスターカラーの特徴を理解し、むらなく均一に色をつることができる。	目的や色が与える印象について考え、表現意図に応じた配色のバランスや色合いについて構想を練っている。	色彩の原理に触れることで喜びを味わい、イメージした色合いを再現しようと試行錯誤をしている。
10～12	平面構成	8	色の感情効果を利用し、さまざまな感情を抽象的な形と効果的に色彩を使って平面を美しくデザインする。	色の感情効果について理解し、抽象的な形で表現する利点を踏まえて作品制作に生かしている	自分が表現したい感情について特徴を捉え、美的感覚を働かせて、構成や装飾を考え、表現の構想を練っている	色の感情効果を効果的に利用し表現する喜びを味わい、イメージした色合いを再現しようと試行錯誤をしている。
			2学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	・ワークシート ・作品制作 ・定期テスト	・ワークシート ・作品制作 ・定期テスト	・授業での取り組み（作品制作、ワークシートを含む） ・定期テスト
1	見ることからの発見（立体）	7	・粘土を使用し、平面で観察したものを立体作品として表現する。 ・粘土の種類による特性を理解する。	モチーフの形や色彩、特徴をもとに作品全体のイメージで捉えることを理解している。 粘土や用具の使い方などを身につけ、意図に応じて工夫し、制作の順序などを考え、見通しをもって表している。	よく観察し、素材から主題を生み出しながら美しさやそのものらしさを考え、表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、身近なものがもつ形や色彩などをもとに見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に楽しく取り組もうとしている。
2	音楽から思いを汲んで	3		さまざまな要素から主題を生み出すことを理解し、体験することで芸術に対する理解を深める	さまざまな要素から主題を生み出すとする意識をもって構成や構図を考え、自分の主題をより美しく表現しようとしている。	楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心をもって授業に取り組んでいる。
3	美術の歴史	5	美術史を大まかに捉えたスライドを使用した美術の作品鑑賞や意見交換	形や色彩、材料などの性質や、構成の美しさなどをもとに美術作品について全体のイメージや作風で捉えることを理解している。	美術作品がもつよさや美しさを感じ取り、作者の制作の意図や表現の工夫、関連する美術文化の継承や創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	自ら進んで鑑賞の活動に深く関わり、作品がもつ造形的なよさや美しさなどについて深く味わい、新たな視点から作品を捉えようとするなどして見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
			3学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	・ワークシート ・作品制作 ・定期テスト	・ワークシート ・作品制作 ・定期テスト	・授業での取り組み（作品制作、ワークシートを含む） ・定期テスト

主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
 対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

月	単元名	時数	学習内容	観点別評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	レオナルドとその時代	2	「最後の晩餐」の鑑賞をとおしてルネサンス美術について知る	ルネサンス期の芸術の特徴や、「最後の晩餐」の技法や作者について知る。	ルネサンス期の芸術の特徴や、「最後の晩餐」の技法や作者について知り、感じたことや気づいたことを表現している「。	鑑賞をとおして積極的に学習活動に取り組み、自分の言葉で感想を表している。
4 7	透視図法を利用した平面構成	10	透視図法を利用し、抽象的な形と効果的に色彩を使って平面を美しくデザインする。	遠近法や透視図法について理解し、抽象的な形で表現する利点を踏まえて作品制作に生かしている	透視図法の特徴を利用し特徴を捉え、美的感覚を働かせて、構成や装飾を考え、表現の構想を練っている	色の感情効果を効果的に利用し表現する喜びを味わい、イメージした色合いを再現しようと試行錯誤をしている。
			1学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	・ワークシート ・作品制作 ・定期テスト	・ワークシート ・作品制作 ・定期テスト	・授業での取り組み（作品制作、ワークシートを含む） ・定期テスト
8 11	水墨画の世界	10	・水墨画 墨の調墨について 筆法の紹介（直筆・側筆・転筆等）	形や色彩、墨などの材料が感情にもたらす効果や墨がもつ造形的な特徴をもとに全体のイメージで捉えることを理解している。意図通りに調墨ができるようになる。	水墨画の伝統や文化のよさや、墨の特徴を生かして表した作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な工夫、関連する美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、風景や墨の特徴などから感じ取ったことや考えたことなどをもとにした表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
1 1 12	版表現	2	・篆刻 篆書体で印面のデザインを考え陽刻、陰刻を選択して彫る。	版表現の材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求し制作の順序を考えながら見直しをもって表している。篆刻材と道具の扱い方や特徴を理解し、意図に合わせて持ち方や使い方を工夫できている。	版表現のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な工夫などについて考え、美意識を高め見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、形や色彩の美しさや面白さをもとに構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする版表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
			2学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	・ワークシート ・作品制作 ・定期テスト	・ワークシート ・作品制作 ・定期テスト	・授業での取り組み（作品制作、ワークシートを含む） ・定期テスト
1 2	アニメーション	7	アニメーションの仕組みを知り、鑑賞をとおして理解を深める	アニメーションの仕組みや歴史を理解し、鑑賞をとおして工夫や技法に気付けるようになる	身近にあるアニメーションの仕組みや歴史を知り、制作者の意図や技法について想像力を働かせ、アニメーションに対する見方を深める。	美術の創造活動の喜びを味わい、形や色彩の美しさや面白さを感じ取ったり学習活動に主体的に取り組もうとしている。
3	日本美術史 仏像の美	4	修学旅行の事前学習として、仏像、寺社仏閣の鑑賞と学習を行う。	形や色彩、材料や光などの性質や、それらが感情にもたらす効果をもとに仏像について空間の効果、量感や動勢など全体のイメージや作風で捉えることを理解している。	仏像がもつよさや美しさ、優しさや力強さ、静寂さなどを感じ取り、それぞれの時代ごとの表現の工夫、関連する美術文化の継承と創造について考えたりするなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい仏像や関連する美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
			3学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	・ワークシート ・作品制作 ・定期テスト	・ワークシート ・作品制作 ・定期テスト	・授業での取り組み（作品制作、ワークシートを含む） ・定期テスト

主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。
 対象を深く見つめ感じ取る力や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する能力を伸ばす。自然の造形、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

月	単元名	時数	学習内容	観点別評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	修学旅行のしおりを装飾しよう	4	修学旅行の事前学習をもとに、それぞれの修学旅行のしおりを装飾する。	修学旅行のしおりについて特徴を理解し、制作の順序などを総合的に考えながら見直しをもって表現している。	修学旅行の事前学習をもとに、修学旅行のしおりの表紙・裏表紙を美的感覚を働かせて文字、形や色彩、図柄の組合せを構成や装飾を考え、表現の構想を練っている。	自身の制作をとおして修学旅行への意欲が増すことに留意しながら表紙に描く絵や文字を主体的に考え、意欲的に表現している

5~7	マンガ表現	7	マンガの表現技法や歴史を理解し、日常や修学旅行中の体験をもとにマンガを制作する。	日常の出来事や修学旅行中の体験をもとに生み出した主題を土台にして想像力を働かせ、単純化や省略、強調などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現をしている	日常の出来事や修学旅行中の体験をもとに主題を生み出し、伝えたい内容を多くの人々に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして分かりやすさや美しさなどを考え、表現の構想を練っている	マンガの表現の特徴や歴史について理解し、積極的に技法を取り入れて作品に生かしている
			1学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	・ワークシート ・作品制作 ・定期テスト	・ワークシート ・作品制作 ・定期テスト	・授業での取り組み（作品制作、ワークシートを含む） ・定期テスト
8・9・10	自画像	9	自画像のもつ意味や効果、描く際のポイントを理解し、自画像を制作する。	人体のバランスや水彩画の技法などの描く際のポイントを理解し、想像力を働かせて単純化や省略、強調などを考え、創造的な構成を工夫し、作品制作に反映させている	自分の顔や自分自身の内面を深く見つめ感じ取ったこと、考えたこと、夢や感情、心の世界などを基に、主題を生み出し表現の構想を練っている	自画像制作の意義や描くポイントを主体的に学びとり、作品制作に積極的に取り入れて自分らしさを表現している
11・12	コラージュ	4	自分を構成しているもの、自分の好きなものをテーマに写真などの材料を集め、配置などを工夫しながらコラージュを制作する。	自分の好きなものをテーマに、反復、省略、強調、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、テーマをより効果的に訴えている	自分自身の内面を深く見つめ、感じ取ったこと、考えたこと、夢や感情、心の世界などを基に、自分らしい表現の構想を練っている	コラージュの特徴を理解し、主題にあった材料を探して集めるなど制作の準備から作品完成までを主体的に取り組んでいる。
			2学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	・ワークシート ・作品制作 ・定期テスト	・ワークシート ・作品制作 ・定期テスト	・授業での取り組み（作品制作、ワークシートを含む） ・定期テスト
1・2	針金で立体を作ろう	7	針金の特徴と立体制作の特徴を踏まえて針金で動物を制作する	針金の組み方や立体制作の特徴について理解し、空間を利用することや制作する動物の立体としての特徴を捉えられている	針金の組み方や立体制作の特徴について理解し、空間を利用することや制作する動物の立体としての特徴を捉えて表現している	主体的に制作活動に取り組む美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める
3	芸術作品の価値ってなんだろう	2	芸術作品の価値についてさまざまな年代の作品を鑑賞し自分の意見をまとめ、話し合い活動をとってさまざまな価値観を理解する	作品の生まれた時代背景や作者の人生などをもとに自分の作品への解釈や意見をまとめ、芸術作品の価値について理解を深めている	芸術作品の価値について、時代背景や作者の人生、を踏まえて経済的価値や個人的価値、社会的価値などの多様な価値基準でどのように考えるのか自分なりの意見をまとめている。	主体的にさまざまな年代の作品を鑑賞し、自分の意見をまとめ、積極的に他の生徒と共有して多様な価値基準や芸術的感性に触れようとしている
			3学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	・ワークシート ・作品制作 ・定期テスト	・ワークシート ・作品制作 ・定期テスト	・授業での取り組み（作品制作、ワークシートを含む） ・定期テスト